



2025年6月9日

各 位

会 社 名 売れるネット廣告社グループ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 加藤公一レオ  
(コード番号: 9235 東証グロース)  
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 植木原宗平  
(TEL 092-834-5520)

## 【上場企業 国内最速 売れるネット廣告社グループ】

TikTok Shop “運営代行第1号”が始動！

～ 売れるネット廣告社グループが「動画×EC」市場の主役へ～



売れるネット廣告社グループ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：加藤公一レオ、証券コード：9235、以下 売れるネット廣告社グループ）は、連結子会社である株式会社売れる越境EC社が提供する『TikTok Shop 運営代行サービス』の支援先企業において、『TikTok Shop セラーセンター』へのショップ登録（出店申請）が正式に完了したことをお知らせいたします。

この登録完了により、当該企業は商品登録・販売開始に向けた最終準備フェーズへと進んだ状態となり、当社グループのTikTok Shop支援事業が“実行段階”へと本格的に移行したことを意味します。

これは、“上場企業において国内最速・第1号”として『TikTok Shop』ショップ登録の完了事例となり、売れるネット廣告社グループの支援体制が明確な“初動実績”として可視化されたマイルストーンです。

（※当社調べ／2025年6月9日時点、国内上場企業において）

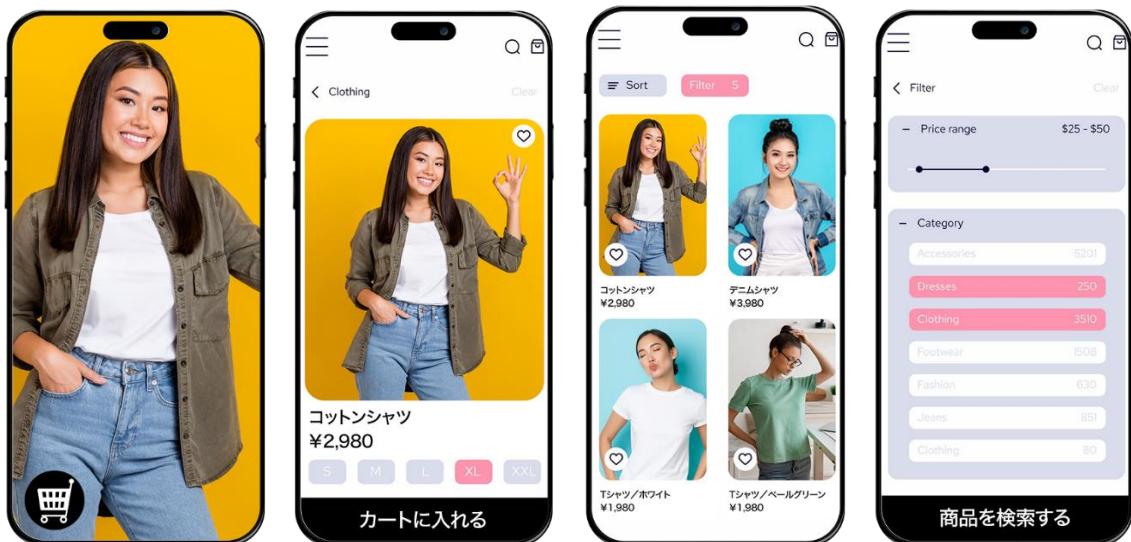
## 【世界的トレンドと日本市場の爆発的ポテンシャル】

「国内 TikTok Shop」は、ショート動画視聴から商品購入までをアプリ内でシームレスに完結できる革新的なECモデルであり、米国・中国・東南アジアを中心に世界各国で爆発的な普及が進行中です。特に日本では、月間アクティブユーザー3,000万人超という巨大プラットフォームでありながら、まだ本格展開が始まってお

らず、2025年が“国内TikTok Shop元年”と位置づけられるほどの注目市場となっています。

このような背景の中で、当社グループの中核子会社である「売れる越境EC社」は、これまで中国におけるTikTok運用の豊富な実績とノウハウを蓄積しており、国内向けにもその知見を活かした運営支援サービスをいち早く展開してまいりました。

そして今回、その成果が“日本初”（※当社調べ）のTikTok Shopショップ登録完了という実績として可視化され、市場への圧倒的な先行ポジションを獲得したのです。



（TikTok Shop のイメージ）

### 【複数商談進行中、IR連発のフェーズへ突入】

今回のShop登録を皮切りに、すでに複数のクライアントとTikTok Shop運営に関する商談・契約が進行中です。今後は、クライアントに開設・稼働が完了し次第、『情報公開に同意いただいたクライアント』につきましては、順次IRとして開示していく準備が整っております。

つまり本件は、単発の成果ではなく、“今後連続的にIRを出していく爆発の起点”であり、投資家の皆様にとってまさに“テーマ株初動”的の瞬間と捉えていただける内容です。

### 【D2C・越境ECの“本命”】

当社グループは、TikTok Shopを活用したD2C展開や越境EC展開を志向する企業に対し、企画・構築・運用・改善までをワンストップで支援できる体制を構築しています。

さらに、AIによる広告最適化や成果報酬型モデルとの連携など、多層的に収益を最大化できる強固な事業モデルを有しております、単なる代行業にとどまらない“ECインフラ企業”としての立ち位置を確立しつつあります。

## 【『売れる越境 EC 社』代表取締役社長 CEO 高橋宗太のコメント】



このたび、日本国内でも「TikTok Shop」がいよいよ本格始動する流れの中で、当社が支援する企業様のShopが、“第1号”として正式登録が完了したことを大変光栄に思います。

今後、日本市場でも「TikTok Shop」は間違いなく急速に拡大していくと確信しております、この時代の波に乗り遅れないどころか、先頭を走る存在であり続けるべく、圧倒的速度で展開を加速してまいります。

当社の「TikTok Shop 運営代行サービス」は、Shopの構築だけでなく、日々の運用、改善、コンテンツ戦略、データ分析までをワンストップで担うフルサポート体制です。すでに多数の企業様からお問い合わせ・ご相談をいただいており、今後は順次その成果を開示してまいります。少しでもご興味のある企業様は、“日本のTikTok Shop市場を共に切り拓くパートナー”として、ぜひ一緒にチャレンジしていただければ幸いです。

国内 TikTok Shop 市場が立ち上がる中で、先行して実績を出せた当社の優位性は計り知れません。

当社は、TikTok Shop 事業を成長の柱と位置づけ、“時価総額200億円から1000億円、そしてその先へ”という明確な中期ビジョンを描いております。

今後も IR 戦略を加速させてまいりますので、“成長のテーマ株”としての本質価値にぜひご注目ください。

以上